

学校教育目標	自分や周りを大切に、元気な未来を作る子どもの育成 ～「自尊」と「他尊」の精神で、「未来」の担い手を～	経営理念 ミッション・ビジョン	① 主体的な学び、協働的な学び、課題発見・解決学習を創造・実現する教師・学校<学びの変革> ② 子どもの力を磨き、教育的愛情をもって一人一人を大切に育てる教師・学校 <指導力> ③ “チーム熊四小”の一員として組織的・協働的に取り組む教師・学校<組織力・PDCA> ④ 未来の担い手を育てているという自覚と責任と誇りのある教師・学校<職責・使命感>
--------	--	--------------------	---

評価計画(4月末提出)					自己評価				学校関係者評価			改善方策				
c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h 達成値	h 達成値	i=h/g 達成度	j 評価 A～D 4段階 評価	k 結果と課題の説明 (短期経営目標についての評価結果)	I 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	11月	2月	
					11月	2月				イ 適正	ロ 不適正	ハ 分からない				
(確かな学力) (自らかな学力)	(1) 自己実現の基礎となる確かな学力をつける	基礎・基本の徹底と、コンピテンシーの育成を目指した授業改善により、児童の学力を向上させるとともに、課題発見・解決力を伸ばす。 算数科と総合的な学習の時間に、「課題発見・解決学習」を位置づけた授業実践を計画的に行う。	児童の課題を把握したうえで、個に応じた問題や家庭学習を用意し、かがやきタイムや家庭学習を充実させる。	学期末テストにおいて対目標値1.07以上の児童の割合	80%											
			課題発見・解決学習(課題設定、実行)に関する児童アンケートでの肯定的回答の割合	85%												
(豊かな心) (優しさ)	(2) ルールを守り、自他を大切に育てる児童の育成	規範意識、自他の尊重に関する児童の意識を高める。 がん熊スキルの「整える」ことを中心に指導と的確な評言していく。また全校生活目標にも位置付ける。 ○靴そろえ ○PPG ○無言掃除 等	児童アンケートにおける肯定的回答の割合	90%												
			指導者の行動観察による達成度の割合	90%												
			全校・学級・個別の全てにおいて一貫した指導と評価(評言)を継続し、「自尊」「他尊」「未来」に関する価値付けを高めていく。	「自尊」「他尊」「未来」に関する児童アンケートの肯定的回答の割合	90%											
(たくまかな体) (健康)	(3) 主体的に体を鍛える児童の育成	新体力テストの課題である握力を高めることで、運動能力・体力の向上につながる基礎を培う。 毎朝、握力を高めるためのストレッチ体操を導入する。 体育科の準備運動に鉄棒や雲梯、登り棒を積極的に取り入れる。 清掃活動における雑巾絞りも握力向上の一助として指導を行う。 「生活チェック」を学期に1回実施し、規則正しい生活の意識付けを行う。	握力計の測定による握力の数値が全国平均以上の児童の割合	60%以上												

★熊四子に育成すべき資質・能力

①知識・情報・技能 ⑤自己理解
 ②課題発見・解決力 自らへの自信<自尊>
 ③実行力 ⑥人としての思いやり<他尊>
 ④主体性 >
 ⑦未来を担う志<未来>